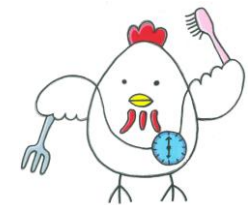


第1回学校関係者評価委員会

(学校評価・前期 結果及び考察)



令和5年9月7日（木） 17:00（於：校長室）

八幡浜市立川之石小学校

令和5年度 学校関係者評価計画

八幡浜市立川之石小学校

1 基本的な考え方(学校評価のねらい)

- (1) 教育活動、教育業務その他の学校運営の組織的・継続的な改善
- (2) 信頼される開かれた学校づくり
- (3) 一定水準の教育の質の保証とその向上

2 学校評価の実際

(1) 自己評価の充実に向けた取組

- ア スケジュールの策定
- イ 具体的目標の設定
- ウ 評価項目、評価指標や評価基準等の設定
- エ 外部アンケート等評価資料の収集・整理
- 職員・保護者・児童を対象にアンケートを実施
- オ 自己評価の実施と改善方策の検討

(2) 学校評価の充実に向けた取組

ア 学校関係者評価委員会の設置

本校学校関係者評価委員の構成は、8名（地域代表、隣接異校種代表、保護者代表）からなる。

(学校関係者評価委員)

地域代表	民生委員代表	徳井ミツ子
〃	みなせ施設長	菊池 敏和
〃	日赤奉仕団川之石分団長	竹内 光代
〃	主任児童委員	宇都宮京子
〃	主任児童委員	二宮 和子
隣接異校種代表	保内中学校教頭	山本 豊
保護者代表	P T A会長	窪田 雅宏
〃	P T A副会長	成谷久美子

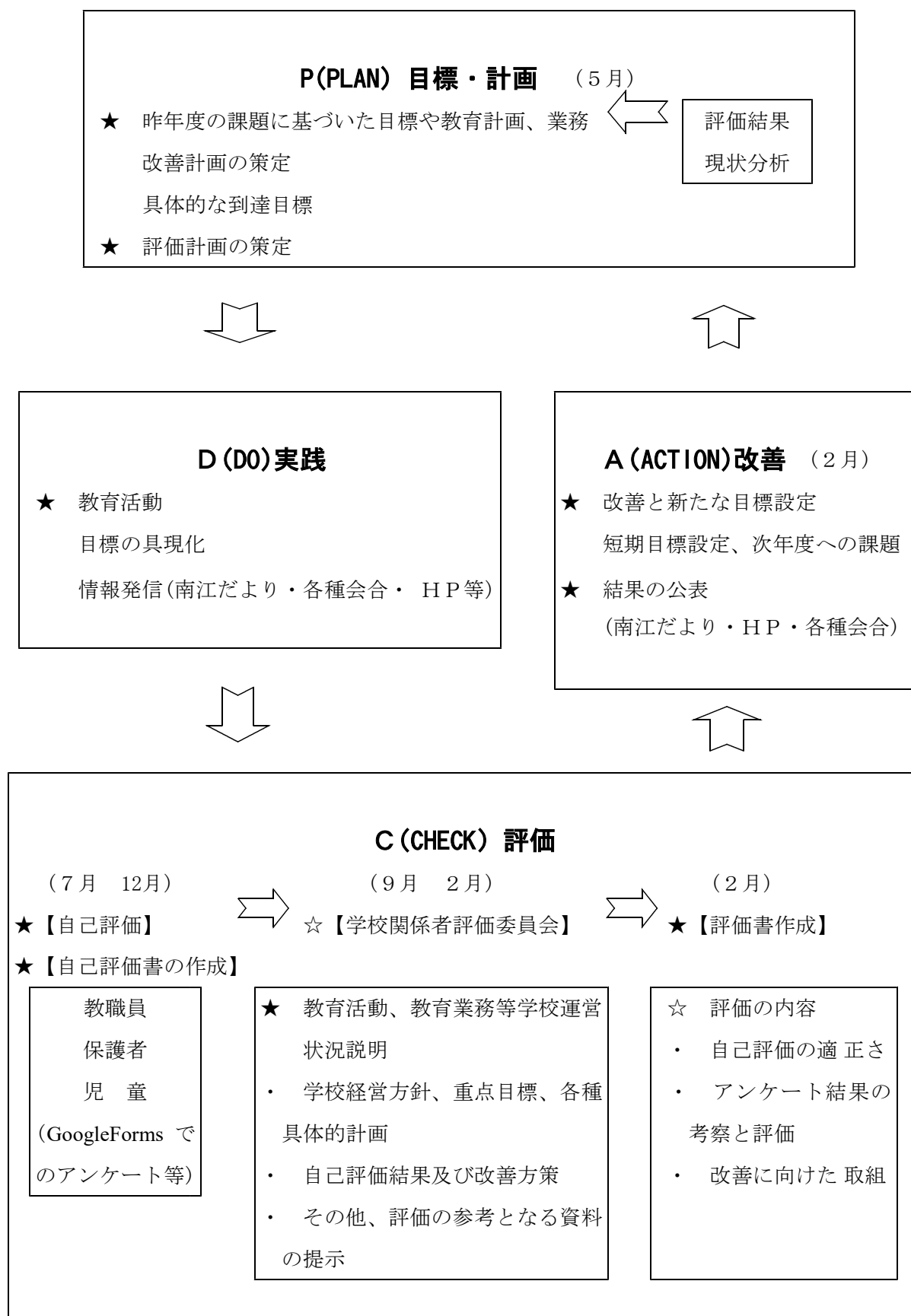
イ 学校関係者評価のねらい

自己評価の客観性を高めるとともに、教職員と地域住民や保護者が学校運営の現状と課題について共通理解を持ち、協力することにより、教育活動、教育業務その他の学校運営の改善が適切に行われるようにすることを目的として実施する。

ウ 学校関係者評価委員会の開催

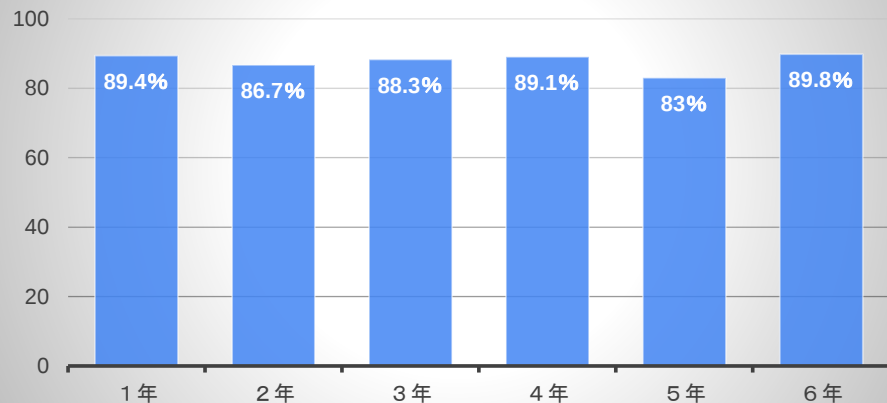
(ア) 年2回（9月・2月）開催

- (イ) 第1回は、会の趣旨等説明及び前期評価を基に学校運営についての意見交換
- 第2回は、後期評価を基に学校運営についての意見交換及び最終評価書の作成

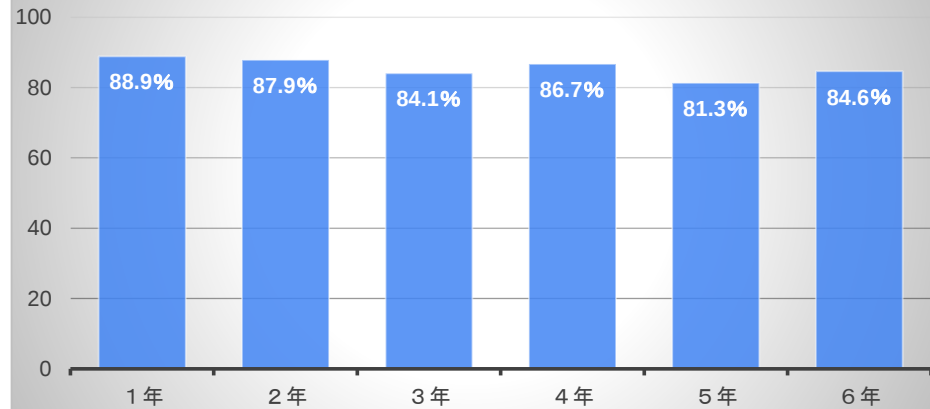


R 5 前期アンケート児童データ

校訓「強く」到達度

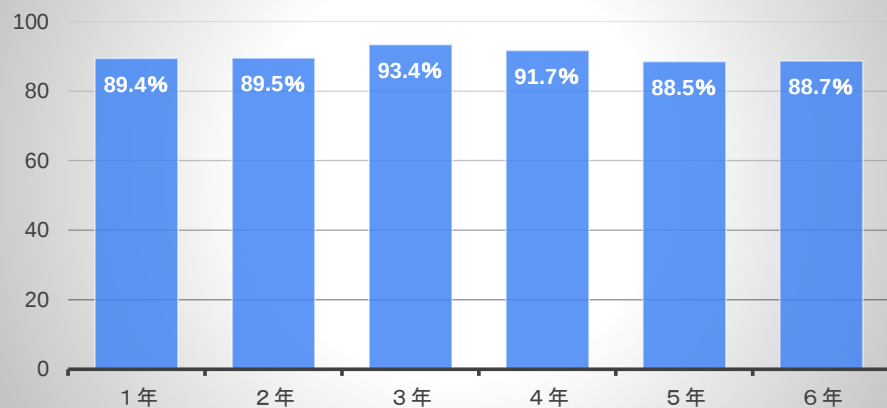


校訓「正しく」到達度



※ 設問項目ごとの到達度（別ページ）を参照（●▲■）

校訓「美しく」到達度



児童アンケート考察

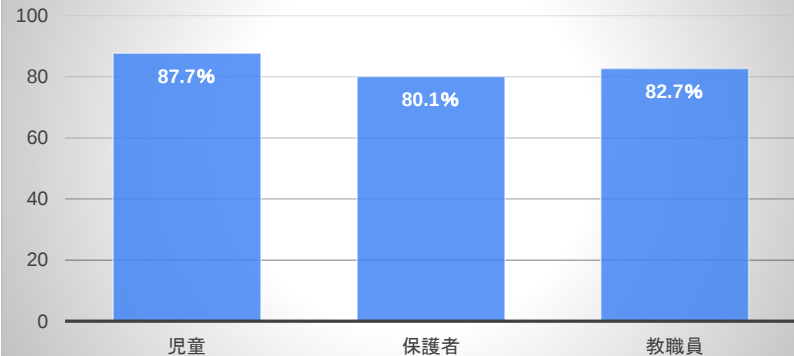
●校訓「強く」の内容に関わる設問については、全校での平均到達度が87%を超える割合となっており、多くの児童が学校生活や家庭生活に対して前向きに取り組んだことが分かる。設問3、5、6については90%を超えているが、コロナによる活動制限の緩和も数値が高くなっている要因と考えられる。

●校訓「正しく」に関する平均到達度は、全校で約86%であった。学習に関する6つの設問のうち3つで85%以上の到達度を示しており、児童の自己評価は比較的高水準にあるが、設問によっては教師の結果と逆の結果を示したものもある。

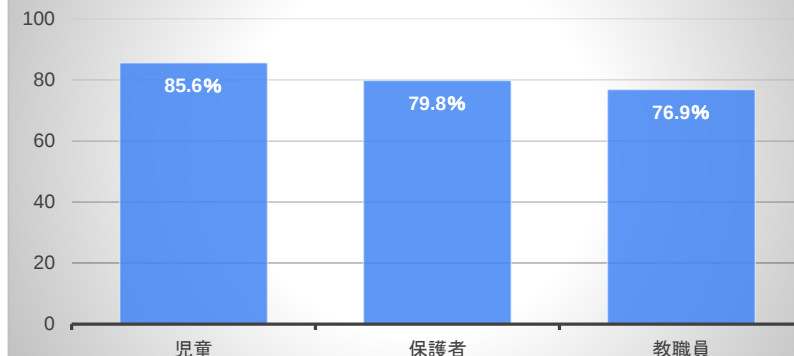
●校訓「美しく」に関する平均到達度は、全校で約90%であった。特に設問13、14の割合は92%を超えており、自己、他者に対する肯定感の高まりが見られた。（※設問13、14は昨年度から設問の内容を変更済み）この結果も児童の自己評価は比較的高い水準にあるが、教師の結果と逆の結果が表れた設問があった。

R 5 前期アンケート児童・保護者・教師データ

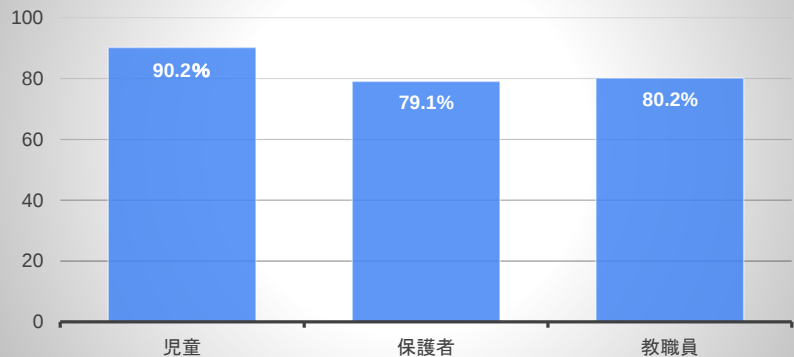
校訓「強く」到達度



校訓「正しく」到達度



校訓「美しく」到達度



保護者アンケート考察

- 校訓「強く」に関わる設問7「学校は、子どもの健康・安全を大切にし、安心な環境づくりに努めている。」については、約85%の到達度を示している。健康に関する啓発活動や故障箇所の修繕、用具の整理整頓などに取り組んだ成果が表れている。
- 校訓「正しく」に関わる設問8、9、10、11については約74%～75%の到達度になっており、授業改善を中心に具体的な取組を推進していきたい。設問13、14については約85%を超えており、職員の取組を理解していただいている。
- 校訓「美しく」に関わる設問19「お子さんは、自分に対する厳しい気持ちや態度が育っている。」については、約65%と全ての設問の中で一番低い値となっている。この点については昨年度も同様であるため、本校の大きな課題として捉えなければならない。

教職員アンケート考察

- 校訓「強く」に関わる到達度は約83%となっている。昨年度より、3つの設問で達成度が向上しており、職員の指導による効果が表れている。しかし、設問6については、昨年度より達成度が7%ほど低くなっており、「何事にも最後まで諦めない意識や態度の育成」が課題である。
- 校訓「正しく」に関わる設問から、学習習慣を身に付けるための指導、前向きに授業に臨む意識や態度については達成度が約80%を超えている。ただし、「学習したことを活用する」「表現する意識や態度の向上」という点においては、低い達成度となっており、後期の課題として取り組んでいく。
- 校訓「美しく」に関わる設問では、教育目標を意識して取り組んだ達成度が約89%、いじめのない学校、学級づくりが約91%となっており、とても高い数値を示している。しかし、児童の「自分に対する厳しい意識・態度が向上している」という点についての達成度は保護者と同様で約67%程度と低くなっている。後期に行う教育活動を見直し、改善を加えながら児童のやる気や根気を育てていきたい。

R5 学校評価・前期（設問項目ごと）

校 訓	対 象	設問項目	平 均	到達度	
【強く】	保護者 (／4)	1 お子さんは、よい生活習慣が身に付いている。	2.97	74.25%	80.60%
		2 お子さんは、よい食習慣が身に付いている。	2.93	73.25%	
		3 お子さんは、外で遊んだり、課外活動の体力づくりに取り組んだりしている。	3.38	84.50%	
		4 お子さんは、自分で健康や安全に気を付けている。	3.03	75.75%	
		5 お子さんは、学校の活動や行事に進んで取り組んでいる。	3.39	84.75%	
		6 お子さんは、何事も最後まで諦めないで取り組んでいる。	3.17	79.25%	
		● 7 学校は、子どもの健康・安全を大切にし、安心な環境づくりに努めている。	3.42	85.50%	
	教職員 (／4)	1 よい生活習慣が身に付くように指導した。	3.54	88.50%	82.71%
		2 よい食習慣が身に付くように指導した。	3.31	82.75%	
		3 外遊び・課外活動の体力づくりへの指導を行った。	3.31	82.75%	
		4 児童は、健康安全に関する意識や態度が向上した。	3.08	77.00%	
		5 児童に学校の活動や行事に進んで取り組むよう指導した。	3.46	86.50%	
		▲ 6 児童は、何事も最後まで諦めない意識や態度が向上している。	2.92	73.00%	
		7 安全・安心な学校環境づくりに取り組むことができた。	3.54	88.50%	
	児童 (／4)	1 早ね・早おきがまもれた。	3.27	81.75%	87.25%
		2 すききらいなくなんでも食べた。	3.21	80.25%	
		● 3 外で元気(げんき)よくあそんだ。	3.63	90.75%	
		4 自分からすすんで健康(けんこう)や安全(あんぜん)に気をつけた。	3.52	88.00%	
		● 5 はりきって学校の活動(かつどう)にとりくんだ。	3.63	90.75%	
		● 6 どんなこともあきらめずに最後まで(さいご)までがんばった。	3.68	92.00%	

R5 学校評価・前期（設問項目ごと）

校 訓	対 象	設問項目	平 均	到達度
【正しく】	保護者 (／4)	■ 8 お子さんは、よい学習習慣が身に付いている。	2.97	74.25%
		■ 9 お子さんは、きちんと話を聞く態度が身に付いている。	3.01	75.25%
		■ 10 お子さんは、学習したことを生かそうする様子が見られる。	2.97	74.25%
		■ 11 お子さんは、自分を表現する力が身に付いている。	3.03	75.75%
		12 お子さんは、授業に前向きに取り組んでいる。	3.29	82.25%
		● 13 学校の教職員は、子ども一人一人にしっかりと目を向けている。	3.56	89.00%
		● 14 学校の教職員は、子どもたちがよく分かる授業づくりに努めている。	3.51	87.75%
	教職員 (／4)	8 よい学習習慣が身に付くように指導した。	3.31	82.75%
		9 児童は、話を聞く意識や態度が向上している。	3.00	75.00%
		▲ 10 児童は、学習したことを活用する意識や態度が向上している。	2.92	73.00%
		▲ 11 児童は、表現する意識や態度が向上している。	2.77	69.25%
		12 児童は、前向きに授業に臨む意識や態度が向上している。	3.23	80.75%
		13 個に応じた学習指導をした。	3.23	80.75%
		14 学習内容を児童がよく理解している。	3.08	77.00%
	児童 (／4)	● 7 学習(がくしゅう)のきまりをきちんとまもっている。	3.52	88.00%
		● 8 先生や友だちの話をきちんと考え(かんがえ)ながら聞いている。	3.58	89.50%
		● 9 習った(ならった)ことをつかって新しい(あたらしい)ことを学習(がくしゅう)している。	3.48	87.00%
		10 自分の考え(かんがえ)をすすんで発表(はっぴょう)している。	3.25	81.25%
		11 どの授業(じゅぎょう)も楽しみ(たのしみ)にしている。	3.33	83.25%
		12 授業(じゅぎょう)がよくわかる。	3.32	83.00%
				85.33%

R5 学校評価・前期（設問項目ごと）

校 訓	対 象	設問項目	平 均	到達度	
【美しく】	保護者 (／4)	15 お子さんは、自分に自信を持ち、自分を大切にする気持ちや態度が育っている。	3.17	79.25%	79.07%
		16 お子さんは、他人を認め、大切にしようとする気持ちや態度が育っている。	3.32	83.00%	
		17 お子さんは、決まりを大切にし、守ろうとする気持ちや態度が育っている。	3.31	82.75%	
		18 お子さんは、心のこもった挨拶や正しい言葉遣いができている。	3.14	78.50%	
		▲ 19 お子さんは、自分に対する厳しい気持ちや態度が育っている。	2.61	65.25%	
		20 子どもの健全育成に向けて、学校と家庭は連携している。	3.28	82.00%	
		21 教職員は、いじめのない学校づくりに努めている。	3.31	82.75%	
	教職員 (／4)	15 児童は、自分に自信を持ち、自分を大切にする意識・態度が向上している。	3.08	77.00%	81.53%
		16 児童は、他人を認め、大切にしようとする意識・態度が向上している。	3.08	77.00%	
		17 決まりを守る意識・態度が向上するように指導をした。	3.39	84.75%	
		18 挨拶・言葉遣いが正しく身に付くように指導した。	3.46	86.50%	
		▲ 19 児童は、自分に対する厳しい意識・態度が向上している。	2.69	67.25%	
		20 児童の健全育成のため、家庭と連携して取り組むことができた。	3.23	80.75%	
		● 21 学校の教育目標を意識しながら教育活動を展開することができた。	3.54	88.50%	
		● 22 いじめのない学校(学級)づくりに取り組むことだできた。	3.62	90.50%	
	児童 (／4)	● 13 自分は、いろいろなことができるようになった。	3.69	92.25%	90.25%
		● 14 まわりの人も、いろいろなことができるようになった。	3.68	92.00%	
		15 きめられたことはなんでもきちんと守った(まもった)。	3.58	89.50%	
		16 自分がかがやくこと(よいところ)をのばすことができた。	3.56	89.00%	
		17 正しいことばづかいやあいさつができる。	3.56	89.00%	
		18 まちがったことをしたら、正直(しょうじき)に言ったり、あやまったりできる。	3.59	89.75%	

R5 学校評価・前期（設問項目ごと）

校 訓	対 象	設問項目	平 均	到達度
ほか	保護者 (／4)	22 お子さんは、学校に行くのが楽しいと感じている。	3.39	84.75%
		23 保護者は学校に行きやすい。	3.35	83.75%
		24 子どもを育てることにに関して、学校・家庭・地域が役割分担している。	3.36	84.00%
	教職員 (／4)	23 学校・家庭・地域が役割分担して子どもたちを育てている。	3.00	75.00%
		24 学校は、業務改善が進んでいる。	3.00	75.00%
		25 教育活動全般(校務など)必要に応じて、共同体制がとれている。	3.46	86.50%
		26 業務に対してやりがいや充実感を感じている。	3.16	79.00%
	児童 (／4)	▲ 19 学校のことや自分のこと、おうちのことで気になることがある。	1.93	48.25%

学校評価・前期（記述回答内容）

【保護者】

- ・ **学校に行くのが楽しいと言っています。ご指導ありがとうございます。**

⇒ 大変うれしいお言葉をいただきありがとうございました。今後も、教職員がそれぞれの立場で子どもたちの成長を第一に考え、教育活動を展開していきたいと思います。引き続き、御理解と御協力のほど、よろしくお願いいたします。

- ・ **学校の決まりなど、子どもがはっきりと分からないことがあるので、その都度、伺っていききたいと思います。**

⇒ 年度当初に、「川之石小学校生活のきまり」というプリントを配付しております。基本的な学校生活の決まりについては、そのプリントに示しているとおりですが、判断しづらい場合は遠慮なく学校へお問い合わせください。

- ・ **いじめ等に関してはあまり情報がないため、回答に困るのが実態かと思います。**

⇒ いじめについては、「どの学級でも起こるもの」として捉え、日々の教育活動に取り組んでおります。本校では、月ごとの教育相談、職員会での情報交換を中心に児童の変容を捉え、指導に当たっております。また、ハートなんでも相談員との連携、スクールカウンセラー一歩訪問等を実施し、教育相談についての研修も行っております。さらに、今年度は、教育委員会が主導で行うタブレット端末を活用した子どもたちの実態を把握し、悩み相談などに対応する取組（やわたはま元気ノート）も導入するなど、きめ細かな生徒指導を心掛けています。もし、お子さんのことやお子さんの所属する学級、あるいは学校のことで御心配な点がありましたら、学校までお知らせください。

- ・ **ランドセルが重たいので宿題のない教科書は学校に置いておくことはできませんか？子どもの成長にも影響が出るのではないかと思います。検討をお願いします。**

⇒ 国語、算数を中心とした一部の教科は、家庭学習の際に教科書などを使用する場合がありますので持ち帰るようにしております。なお、宿題等に使用しない教科書や補助教材の扱いについては、各学級担任の指示に従ってください。もし不明な点があればお問い合わせ

してください。

- ・ 自転車の乗り方をテストするなどして、校区内は乗れるようにしてもらいたい。漢字練習ばかりで、漢字の使い方が怪しくなっている、文章を練習させてほしい。(文字のけいこなどで) AED の講習を受けて思ったのは、全員受講しないと監視員なんてして良いのかと思う。せめて 4、5、6 年生と親子で受講すれば良いのではないかなと思う。
- ・ 子供の自転車の試験などして、校区内の使用を認めてほしい。救命講習に参加したが、不参加の保護者が半数以上の状態で、監視員をやる意味はあるのか心配になった。今回は児童にも協力をしてもらう前提だったので、親子で講習を受けておくのが良いのではないかなと思った。

⇒ この数年、自転車教室で子どもたちの運転技能を見ておりませんので不安な点もありますが、原則として校区内の自転車使用は構いません。(※川之石小学校生活のきまり → ⑤校外生活の項目に自転車に関連した内容を記しています。) なお、通常の登校と同様の扱いとする活動(休日、放課後の部活動への参加、夏休みの補充学習など)は、以前、自転車に乗って登校していた児童が交通事故に遭った事案があり、それ以降の自転車による登校を禁止しております。自転車の使用については、引き続き検討していきたいと思います。

⇒ 正しい文章を書くためには、正しい漢字の読み書きが重要となりますので、毎日の反復練習とともに、本校独自の「チャレンジテスト」などを行い、漢字の習得に向けた取組を行っています。文章については、日記、ワークシート、感想文などあらゆる機会を通して行い書く力の向上を目指しています。今後も、日々の積み重ねを大切しながら文章を書く力を伸ばしていきたいと思います。

⇒ 救命救急法講習会への参加については、正直なところ参加者が少なく残念でした。プール開放を行う以上は、万が一に備えることが重要です。また、救命救急法を身に付けておくことは、プール開放時だけでなく、身近な人が目の前で倒れたときなどにも役立つはず。いただいた御意見を参考に来年度は開催方法等を改善していきたいと思います。

第Ⅰ回学校関係者評価委員会記録（9/7）

1 学校長挨拶

- お忙しい中、お集まりいただき大変ありがたい。夏休みの暑い中、学校に来て野球をしている児童がおり、水分をとりながら遊んでいる様子を度々見ることがあった。今は、暑い中で過ごすことから避けてしまいがちだが、季節を感じられるような過ごし方も大切にしていきたい。今日は、忌憚のない御意見をお聞かせいただきたい。

2 質疑・意見交換

- 先程の報告で、子どもたちの自己評価が高いとあったが、自己肯定感が高いことはよいことだと思う。自分のこと、友達のことを頑張っていると認めるのはなかなか難しいはずだ。今後も、自己肯定感の高まりを継続してほしい。
- 評価結果から、保護者と教員が共通の課題を感じていることが分かった。子どもたちの自己肯定感も大切にしながら、課題をクリアできるようにしてほしい。
- 自転車の使用範囲は、現在はどうなっているのだろうか。
 - ⇒ 川之石小のきまりには、「校区内は乗ってかまわないが、校区外は自転車を押して移動する。」と記載している。川之石は車の交通量も多く、以前に、自転車での事故があったことから、登校に準じる活動においては、自転車に乗ってこないように指導をしている。
- 図書館やだんだんなどは、利用頻度も多く、校区外といっても距離が少ししか離れていないので、自転車での移動を可能にしてもよいのではないか。
 - ⇒ 今後、校外での状況を把握し、検討していきたい。
- 川高の裏通りは、工事が行われているので、子どもたちは気を付けてほしい。
- みなせ祭りを行ったところ、大勢の子どもたちが参加してくれた。みなせに来ている子どもたちは、自転車などもきちんと並べている。

○ 子どもたちが、みなせ祭りでたくさん募金をしてくれた。手つなぎボランティアなどの奉仕活動をともしに行っているので、面識があるからだと思うが、自分のお小遣いを募金するなど、心優しい子どもがいた。

○ AED講習会については、何度も講習を受けている人が遠慮して参加していない状況もあったようだ。できるだけ参加人数を増やしていけたらよい。

⇒ 来年度は、参加募集の呼び掛けを工夫したいと考えている。

○ 7月から、こども食堂が始まり、みなせを会場として提供している。主催者は、子どもを育てている母親のため、子どもたちが集まって楽しく過ごす時間を設けるためなど、地域に貢献したいという気持ちで取り組んでいる。ボランティアの広がりが必要としているかもしれないので、できるだけ協力していきたい。

○ 自己評価は低学年に難しいのではないだろうか。

⇒ 低学年は、質問の内容が分かりにくい場合もあるので、学級担任も一緒にやっている。自己評価はタブレットを使って解答しているため、ボタンの押し間違いなども考えられる。アンケート等をタブレットで行う経験させながら、効果的に実施したい。

○ 楽しく学校に行けることが一番だと考えている。みんな元気に活動しているようだが、不登校傾向の児童はいるのだろうか。

⇒ 現在は、問題なく全員登校している。

○ 先程、いじめに対する取組の説明があったが、学校は児童の具体的な状況を把握しているのだろうか。

⇒ 毎月の教育相談週間で、児童一人一人と話をしている。また、児童の状況は、毎月の職員会、職朝などで情報交換している。今後も継続して行っていきたい。

3 学校長挨拶

○ 今日は、たくさんの御意見をいただき、たいへん有り難い。いただいた御意見を今後の教育活動に生かしていきたいと思う。今後も御協力をお願いしたい。